

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

新緑が深まり、ツツジが満開の今日この頃です。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

少しだけ季節をもどって、桜の話をしてください。

大阪の開花宣言は春分の日に発表されました。冷たい雨が降っていて、「こんなに寒い日に、桜が咲いたって言われても・・・」と、思いました。

しかし、その後は連日の快晴。絵に描いたような青い空に満開の桜、写真集のような光景で、毎日がお花見日和。桜が散り終わるまで、こんなにいいお天気が続いた年は近年では無かったように思います。

冬の間、どんよりしてしまった気持ちが、桜効果で一気に吹き飛びました。

いつもは閑散としている公園にも、たくさんの方が楽しそうに集っています。宴会に興じる人々の中には、桜は眼中にない人もいるのかもしれませんが、楽しいきっかけを作ったのは桜です。日本に桜がたくさんあって、ほんとうによかったなあ、今年もしみじみ思いました。

近所のソメイヨシノの花びらがほぼ散り終わった頃、友人に誘われて奈良の「又兵衛桜」を観にいきました。樹齢300年ともいわれるシダレザクラの古木です。昨年、写真を見せてもらって「来年は誘ってね」とお願いしていたのでした。

又兵衛さんがいるのは、奈良県宇陀市の車でしか行けないような場所でした。少し離れた駐車場に止めましたが、遠くに又兵衛さんの立派な姿がみえていました。遠くからでもスゴイ迫力！！大勢の人が見に来るのも納得です。

元は後藤家のお屋敷跡だそうですが、又兵衛さんはひとりで石垣のぎりぎりの場所にたっていました。周囲の道路や川の護岸はきれいに整備されていて、お屋敷があった頃の様子に思いを馳せるのは難しく、ただ又兵衛さんだけが、ここで移り変わる時代の流れをずっとずっと見守ってきたんだなあと思いました。

ほんとうに優雅で美しい姿でした。これだけを見るために、宇陀までやってくる価値のある桜です。

宇陀市には他にも桜の名所がたくさんあります。道の駅で桜マップをもらい、次は佛隆寺の千年桜を見に行きました。棚田が広がる山間の道を進むと、お寺の参道の途中に大きな桜の木がありました。こちらは「モチヅキザクラ」という種類の桜で、推定樹齢900年といわれているそうです。又兵衛さんのド迫力に触れた後だったので、遠くから見たときは実感できませんでしたが、古い石段をあがって近づくと、千年桜のスゴサに圧倒されました。シダレザクラの又兵衛さんとは違うタイプの美しさ。木の下で見上げていると、ここだけ時間がゆっくり流れているような錯覚を感じます。2種類の桜を見て、長く生きぬいた生物の凄味というのは、木々が語らずとも人々に伝わるのだなあと思いました。

今年の桜のラストを飾る最高の見納めになりました。桜にはもちろん、樹を守ってくださっている近隣の方にも感謝の気持ちでいっぱいです。友人に来年も誘ってくれるようお願いしたのは言うまでもありません。

吉野山の千本桜はもちろん圧巻ですが、宇陀市の又兵衛桜と千年桜は1本でもすごい桜です。年に数日間だけですが、機会があればあればぜひご覧ください。

初夏の足音がすぐそこまで聞こえています。みなさまも変わらずお忙しいかと思いますが、さわやかな季節を充分お楽しみくださいませ。



又兵衛桜



千年桜